

## かわさき区の宝物シート

宝物No.	だいしめでたやぶし
10-24	<b>大師めでたや節</b>

エリア	大師地区	シーズン	通年
	—	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物

所在地	大師地区周辺
問い合わせ	大師古民謡保存会
TEL	044-288-5865
FAX	044-288-5909
E-mail	—
URL	—
交通	京急大師線 川崎大師駅下車、その周辺地域



写真提供：大師古民謡保存会

### 基礎情報

■大師めでたや節とは、川崎の大師地区に古くから歌い継がれている古風で特色のある祝い唄である。羽田（大田区）と大師の間では、戦後すぐくらいまで嫁入り等による交流が盛んであった。このため、めでたや節はその結婚式等で良く歌われた。大師では、当時から一般に羽田節、大師節と呼んでいる。よく唄われる歌詞から、「おせど節」や「めでたい」と呼ぶこともある。ここから現在では「めでたや節」となっている。

■大師では、めでたや節を替え歌にして歌うという風習がある。その状況に合わせて、特に結婚式において歌詞を変えて歌い楽しむというものである。

### 由来・エピソード

■当時は婚礼や建前、船おろしなどの祝い事には、この唄が必ず唄われていた。その時・その場のお祝いの席に相応しい歌詞が作られた。

元々、皆の手拍子に合わせて独唱する唄なので、歌い方は人によって少しずつ変わり、個性的なところに味わいがある。

■平成19年から地元小学校でめでたや節に関する授業が行われている。きっかけは、大師古民謡保存会のひとりがめでたや節の云われを地元小学校の校長先生に話したところ、川中島小学校校長先生から、小学校創立70周年を祝う唄をつくってほしいと依頼されたことからである。授業は、大師古民謡保存会が学校に出向き行っている。授業の中では、最後にはクラスごとにめでたや節の歌詞をつくり生徒が歌う。クラスごとにつくった歌については、発表会を開催し歌を披露する。古民謡保存会では、その発表会が終わると小学生に修了証を贈っている。

（大師めでたや節の歌詞の一部）

- ・めでたい こちらの お酒盛り 松竹を かざりしめて おしゃく 十よ七
- ・お背戸（せど）に 倉が 七戸前（ななとまえ） 七戸まいの 倉よりも 親が大切
- ・川崎で はやる 大師さま 朝まいり 晩に 利益（りやく）さずかる

### 補足・その他

■当初、めでたや節を伝えていくことを目的に、「亀掘会」という団体が立ち上げられ、現在は「大師古民謡保存会」と名前を変えて活動している。

■羽田（大田区）には羽田節の保存会もある。最近では大師古民謡保存会との交流・親睦が行われている。交流・親睦では、お互いに羽田節、めでたや節の替え歌をつくり、歌い合いを行っている。

■昭和50年ごろに川崎市民俗芸能保存協会に登録された。

### 関連シート

